令和７年度　南八幡小の環境教育と実践活動
「たかさき学校 ISO 活動報告」

高崎市立南八幡小学校

１　取り組みの概要

（ア）日常生活の取り組み

電気、灯油、水、ごみの各項目について、身近なことですぐに始められることから実践するよう、年度当初からの学級の活動に位置づけている。

（イ）学習活動の位置づけ

環境教育に関する学習内容を各教科の年間指導計画の中に位置づけ、計画的に授業を行った。

（ウ）自然保護・環境美化実践活動

以下の項目において自然保護や環境美化活動の実践を行っている。

学年花壇の種まき（５～６月）、環境新聞作り（７月～８月）、環境美化実践日（１０月）、花壇・パンジーの植え替え（１１月）、オオムラサキの飼育（１２月～７月）、ビオトープの維持管理（年間）

２　令和７年度の活動内容

（ア）日常生活（各学級）の取り組み

〇ごみの分別をし、減量に努める。
〇使っていない部屋の明かりを消す。
〇使っていない機器のコンセントは抜く。
〇掃除や水やりなどのときは、こまめに水を止める。
〇給食後の歯磨きには、コップを使う。
〇冷暖房は控えめにする。
〇環境委員会を中心として、年間を通しペットボトルキャップを回収し、燃えるごみの減量に取り組む。

ペットボトルキャップの回収

（イ）学習活動の位置づけ

環境教育に関する学習内容は、各学年の各教科の年間指導計画の中に年間１０時間程度位置づけ、計画的に活動している。

１・２年生では、アサガオやサツマイモなどの草花や野菜を育て、植物の成長に必要な環境について、体験的に学習している。３年生では、オオムラサキ等の昆虫の観察を通して、昆虫の生育に必要な環境について考える学習をしている。４年生では、ごみとリサイクルについて、６年生では地球規模の環境問題について学習している。

サツマイモの苗植え

オオムラサキの観察

（ウ）自然保護・環境美化実践活動

花の植え替え

オオムラサキの幼虫採集

ビオトープの維持管理

環境新聞

環境美化実践日

かぶとむしマンション
（落ち葉利用）

３年生の総合的な学習の時間では、オオムラサキをテーマに学習している。飼育や観察を行うだけでなく、地域の里山（観音山丘陵の一部）でオオムラサキの幼虫採集を行うことを通して、地域の環境を守ることの大切さを実感できるような学習を展開している。

親子で作る「環境新聞」は夏休みに希望する児童を募集して取り組んでいる。今年度も各学年から応募があり、児童がそれぞれの視点で環境問題への意識をもち、資料を調べたり、自分たちでできることを実践したりして、その取り組みを新聞としてまとめている。作品を廊下に掲示することで、全校児童が取り組みに関心をもつことができている。

３　取り組みの見直し及び今後の活動

〇日常生活での取り組み状況について

感染症対策の観点から、冷暖房中も窓を開けて換気を行ってきたため、節電が難しい部分があった。

ごみについては、衛生面を考慮しながら極力分別を行い、減量化を図ってきた。

オオムラサキの飼育や環境新聞の作成は長年取り組んできているが、今年も継続して行うことができた。

〇今後の活動について

今後もオオムラサキの飼育や観察をはじめ、地域の自然を生かしながら、身近な環境を大切にする心を育めるようにしていきたい。

児童自身が日常の中で、身の回りの環境のことを意識して生活し、環境のことを考えた行動ができるよう、引き続き活動を行っていきたい。